

令和 6年度予算見積調書

課室名：雇用労働課
 担当名：若年者支援担当
 内線：4538

(単位：千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業		
P74	若者自立支援センター埼玉運営費			一般会計	労働費	労政費	雇用促進費	若者自立支援センター埼玉運営費		
事業期間	平成18年度～	根拠法令	青少年の雇用の促進等に関する法律		針路	07	誰もが活躍し共に生きる社会の実現		SDGsゴール 8	
					分野施策	0701	就業支援と雇用環境の改善		SDGsターゲット	
1 事業概要 平成18年6月に開設した若者自立支援センター埼玉において、関係機関、関係団体等と連携を図りながら若年無業者の就業活動を総合的に支援する。 令和6年度からは、就業支援事業の一部をメタバース上でも実施して、新たな利用者を掘り起こし、より多くの若年無業者が、就職等へ移行できるよう支援に取り組む。 ア 就業支援事業の実施（リアル） 7,831千円 イ 就業支援事業の実施（メタバース） 11,991千円				5 事業説明 (1) 事業内容 ア 就業支援事業の実施（リアル） 若者自立支援センター埼玉を運営し、各支援事業により若年無業者等の就職活動を総合的に支援する。 有償型就業体験事業 就職氷河期世代の支援として相談事業やセミナーを実施するとともに、有償型就業体験事業を行う。 イ 就業支援事業の実施（メタバース） 就業支援事業の一部をメタバースでも実施し、在宅でもアバターで気軽に利用できる支援メニューを提供して、利用者が段階的に対面支援へ移行できるようにサポートする。 (2) 事業計画 ア 就業支援事業の実施（リアル） (ア) 相談事業 随時 (イ) 心理相談 週1回 (ウ) 職業意識啓発事業(セミナー等)週2回 (エ) しごと体験プログラム、有償型就業体験事業 イ 就業支援事業の実施（メタバース） (ア) 相談事業(心理相談を含む)週2回 (イ) 職業意識啓発事業(セミナー等)週2回 (ウ) しごと体験プログラム 週1回 (エ) 交流会の実施 月2回 ウ 若者自立支援連携会議の開催 (3) 事業効果 【活動指標】 (2) ア(ア)から(エ)を対面にて実施、イ(ア)から(エ)をメタバース上で実施 【成果指標】 就職等移行者数が400人（うちメタバースの利用から就職活動等への移行者が50人） (4) 県民・民間活力、職員のマンパワー、他団体との連携状況 ア 国の事業と連携して各種支援事業を行う。 イ 各媒体で事業の広報を行うとともに、メタバース上での支援事業開始に当たっては、各支援機関の支援者に向けて事業説明会を行い、周知を図る。						
2 事業主体及び負担区分 (県10/10) (国3/4・県1/4)[アの一部]										
3 地方財政措置の状況 普通交付税（単位費用） （款）労働費（細目）地域雇用対策費 （細節）地域雇用対策費										
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×0.5人=4,750千円										
予算額		財 源 内 訳							一般財源	前年との 対比
		国庫支出金								
決定額	19,822	3,366						16,456	10,779	
前年額	9,043	3,663						5,380		

事業内訳書

事業名	若者自立支援センター埼玉運営費		
単位事業名	就業支援事業の実施（リアル）	予算額	7,831千円

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
国庫支出金・ 労政費補助金	3,366	△297	地域就職氷河期世代支援加速化交付金 補助率 定額
一般財源	4,465	△915	
合計	7,831	△1,212	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	7,831	△1,212	就業支援事業（リアル）委託
合計	7,831	△1,212	

単位事業名	就業支援事業の実施（メタバース）	予算額	11,991千円
-------	------------------	-----	----------

○歳入

（単位：千円）

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	11,991	11,991	
合計	11,991	11,991	

○歳出

（単位：千円）

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	11,991	11,991	就業支援事業（メタバース）委託
合計	11,991	11,991	